

都市再生整備計画 事後評価シート

緑の精神回廊地区

平成27年 3月

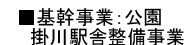
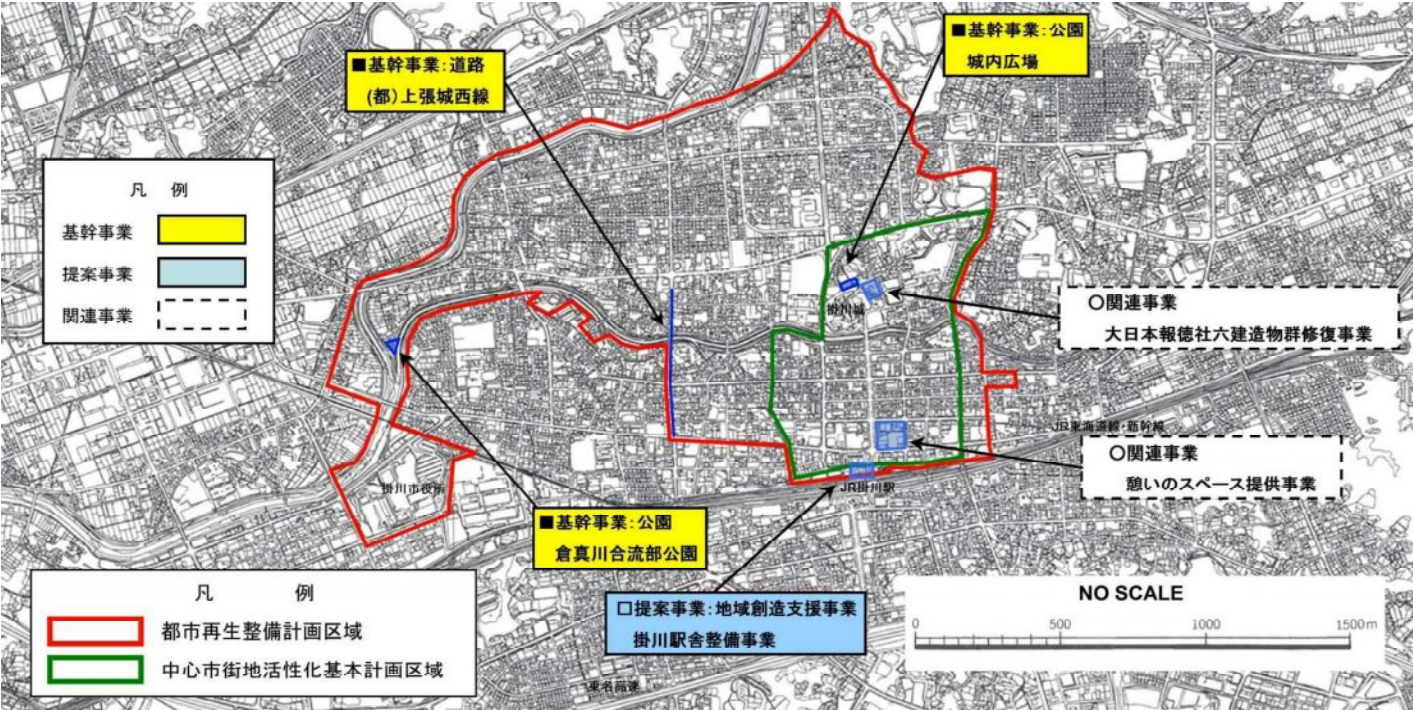
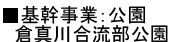
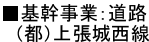
静岡県掛川市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名		静岡県		市町村名		掛川市		地区名		緑の精神回廊地区			面積	210.0ha	
交付期間		平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期		平成26年度		交付対象事業費		285.9百万円	国費率	0.349			
1)事業の実施状況	事業名														
	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		道路((都)上張城西線)公園(倉真川合流部公園、城内広場)										
			提案事業												
	当初計画から削除した事業		基幹事業		道路(大池橋下流右岸線歩道橋) 高質空間空間形成施設(緑化施設等 カラー舗装・照明灯・案内板) 高次都市施設(地域交流センター)				作業ヤード等の用地確保が困難なため中止。 大池橋下流右岸線歩道橋整備の中止に伴い削除。 市街地再開発事業の遅れ等による整備困難により、次期計画で対応。				指標2に影響するが、指標及び数値目標は据え置く。 指標2に影響するが、指標及び数値目標は据え置く。 当初設定していた指標「交流センター利用者数」を変更した。		
			提案事業		地域創造支援事業(水路改修) 事業活用調査(地域交流センター活用調査) 事業活用調査(事業効果分析調査)				関連事業への移行。 地域交流センターを次期計画での対応としたことに伴い削除。 市単独事業で行うこととしたため削除。				影響なし。		
	新たに追加した事業		基幹事業												
			提案事業		地域創造支援事業(掛川駅舎整備事業)				掛川駅舎の木造外観整備の必要に伴い追加。				指標3に影響するが、指標及び数値目標は据え置く。		
	交付期間の変更		当初		平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
変更			なし												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値	目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ		
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期		
	指標1	来訪者の滞留時間	時間/年	2,025	H19	2,630	H25	4,690	○	あり	城内広場へのトイレ等の整備やおいでゑ家の整備により、掛川城周辺の散策の利便性と快適性が向上した。また、大日本報徳社の木建造物群修繕により、より歴史を感じられる要素が増え、これらの歴史的施設やまちなみを散策する楽しさが増えたことや、イベントの開催も滞留時間増加の要因と推察できる。		平成27年4月		
										なし					
	指標2	遊歩道歩行者数	人/時間	66	H20	70	H25	72	○	あり	緑の精神回廊利用の順調な定着が図られており、散歩やウォーキングの個人利用の他、部活動、スポーツ少年団、イベントなどの集団利用も見られる。		－		
										なし					
	指標3	駅周辺のまちづくりを評価する市民の割合	%	53	H21	55	H25	63	○	あり	市において「木の文化のまちづくり」を推進してきた中で、掛川駅舎を木造保存することにより、既存木造建築物や街路樹と合わせて木のぬくもりや緑の豊かさをより感じられる中心市街地が形成された。また、掛川駅舎が木造保存されたことで、駅から掛川城に繋がるまちなみも含め、城郭エリア一体において歴史の趣がより感じられるようになった。		－		
										なし					
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値	目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ		
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)		予定時期		
	その他の数値指標1	友引ストリートカフェ来場者数	人/回	－					2,048			中心市街地では「友引ストリートカフェ」や「けつトラ市」などのイベントが定期的に行われており、これらは掛川駅と掛川城を結ぶ駅前通りで開催されている。また、木のぬくもりを感じられる掛川駅の木造駅舎や、緑や歴史の趣を感じさせるまちなみは、中心市街地のイメージアップやイベントの雰囲気を向上させることに貢献している。	－		
	その他の数値指標2	緑の精神回廊 利用経数	%	－					72			上張城西線の歩道整備によるアクセシビリティの向上、倉真川合流部公園の整備により、緑の精神回廊の利便性が向上している。また、計画段階の平成10年より住民参画で整備が行われてきており、供用後も順調に利用の定着が図られている。	－		
	その他の数値指標3	まちなみでのイベント開催数	年	3	H21			21				中心市街地では「納涼祭り」「光りのオブジェ展」「商工祭り」が毎年1回開催されていたが、平成22年度より「友引ストリートカフェ」「けつトラ市」が官民協働で定期的に行われるようになり、まちなみに活気が感じられる機会が増えた。また、掛川駅の木造駅舎や緑や歴史の趣を感じさせるまちなみは、中心市街地のイメージアップやイベントの雰囲気を向上させることに貢献している。	－		
4)定性的な効果発現状況		・中心市街地における再開発事業の遅れをきっかけに、中心市街地活性化のソフト対策として官民協働で「友引ストリートカフェ」や「けつトラ市」が定期的に開催されるようになり、ストリートカフェにおいては平均約2,000人の来場者が見られるなど一定の成果を上げている。													
5)実施過程の評価	実施内容														
	モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												
	住民参加プロセス		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												
	持続的なまちづくり体制の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												
		今後の対応方針等													
		市は必要に応じてまちづくりに関する意見収集を行う。													

様式2-2 地区の概要

緑の精神回廊地区(静岡県掛川市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
本地区は、伝統的・歴史的建造物を保全し、それを活かして観光・交流の促進、中心市街地の賑わいを再生することを目的とする。さらに緑の精神回廊を整備することにより、歩行文化の創出と、スローライフの促進を図る。	来訪者の滞留時間	単位:時間/年	2,025	H19	2,630	H26	4,690	H26
	遊歩道歩行者数	単位:人/時間	66	H20	70	H26	72	H26
	駅周辺のまちづくりを評価する市民の割合	単位: %	53	H21	55	H26	63	H26



まちの課題の変化	・城内広場へのトイレ等の整備やおいで家家の整備により、掛川城周辺の散策の利便性と快適性が向上した。 ・上張城西線の歩道拡幅により逆川遊歩道へのアクセシビリティの向上が図られた。 ・倉真川合流部公園の整備により、緑の精神回廊の利便性が向上した。 ・市民交流センターに代わる「おいで家」の整備により、中心市街地に市民の交流、高齢者のくつろぎの場、観光客への情報案内を行う場が創出された。 ・中心市街地の活性化を促進するため、「友引ストリートカフェ」や「けつトラ市」などのイベントが開催されるようになり、平均約2,000人の来場が見られ、一定の効果を上げている。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・掛川城周辺の文化的・歴史的に価値のある資源の掘り起こしを図り、未整備資源の整備を進める。 ・上張城西線の歩道拡幅区間をさらに延長することで、緑の精神回廊の南北移動の利便性を向上させる。 ・「おいで家」に変わる地域交流施設を確保する。